

## 伊勢田ふれあいセンター跡地

# 障害者・高齢者デイ建設へ

宇治市は、昨年度に廃止した伊勢田ふれあいセンター(同市小倉町)跡の市有地について、同市の社会福祉法人「同胞会」に売却した。同会は障害者グループホームや障害者・高齢者共生型のデイサービス施設を建設し、2023年春にオープンする。同センターが住民の交流拠点だったことを踏まえ、地域や子どもに開かれたコミュニティ施設も併設する。



## 宇治市が土地売却

同センターは、園児サークル活動などで利減少で廃園した伊勢田幼稚園を活用して1987年に開設された。市は公共施設の削減計画に基づき、跡地の売却先を昨年度に公募した結果、障害者や高齢者、子ども向けの福祉事業所を運営する同胞会のみが応募。今年3月下旬に約1億2千万円で売却した。跡地は約1750平方メートル。新設する建物は2階建て鉄骨造で延べ床面積約1200平方メートル。障害者のグループホームと、障害者・高齢者のデイサービス施設が入る。跡地の東隣には、もともと同会の障害者通所事業所があり、連携を図る。

## 地域・子どもスペース併設



④コミュニティ施設に設置予定の子どもスペース・図書室のイメージ図(同胞会提供)  
⑤障害者・高齢者福祉施設と、地域向けスペースを合わせた建物が開設される予定地。現在は同胞会が駐車場として使っている(宇治市小倉町)

建物1階部分の一部約200平方メートルは、市の売却条件に沿ってコミュニティ施設にする。具体的には、地域住民らが集まりや運動などに使えるホールと多目的室2室、子どもが勉強したり遊べたりするスペースや子ども図書室を計画する。同会が市内で運営するカフェの出張、子ども食堂、生活困窮世帯やひとり親への相談も実施する想定という。

同胞会は「子どもや障害者、高齢者を含むさまざまな人が、互いの存在を身近に感じ、つながれる拠点にした」としている。(相見昌範)